

ふくし滑川

第111号
平成30年1月発行

〒936-0051 滑川市寺家町104 滑川市庁舎東別館2階(旧市民会館)
TEL 475-7000 FAX 475-9671 <http://www.nashakyo.net>



富山型デイサービスあつたかホームにて、平成29年11月1日～3日まで文化祭が行われました。利用者のみなさんの俳句や絵、小物入れなど、これまでの作品が展示されたほか、ボランティアさんによるミニステージ、職員による新川古代神で楽しいひとときを過ごしました。



謹賀新年

会長 加田 洋一



新年あけましておめでとうございます。

皆様には平成30年の初春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は滑川市社会福祉協議会の福祉事業や福祉活動の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、滑川市社会福祉協議会では、「第3次地域福祉活動計画」の策定に伴い、これまで取り組んできた福祉事業に加えて、共生型サロンの育成や介護予防日常生活支援総合事業(わいわいルーム)、地域ふれあい食堂(地域食堂たんぼぼ)等を推進してまいりました。これらは地域住民同士の支え合い活動をより推進して、共に生きる地域社会の実現を目指したものであり、「手から手へぬくもりつなぐなめりかわ」の基本理念を具現化するための取り組みとなっています。

今日の地域社会は高齢化や核家族化が進むなかで、単身世帯や高齢者世帯が増えております。そのことに伴って複雑化した生活課題が顕在化しています。また、貧困問題や障がい者の自立と社会参加等の福祉課題も見逃すことが出来ません。各種の福祉関係の法律や制度の整備は進んでいるものの、制度の隙間を埋めるためには、地域で支え合う住民活動は必要不可欠であると思います。

当協議会は本年も市民の皆様の声に耳を傾け、福祉関係諸団体や機関と連携を密にしながら、それぞれの地区の福祉活動の支えとなる諸事業の推進と充実に努めてまいります。

結びに、市民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

第57回 滑川市社会福祉大会

滑川市の社会福祉発展に貢献された方々が表彰されました。
受彰者の皆様のお名前を掲載します。おめでとうございます。
(順不同・敬称略)

滑川市長表彰

【個人】

仲谷 信子 (荒 俣) 中川 そとえ (新富町)
橋井 けい子 (高月町) 黒田 律子 (下梅沢)

滑川市社会福祉協議会会長表彰

【個人】

中山 彦政 (大 浦) 伊勢 節子 (常盤町)
早川 祐一 (田中町) 金子 榮子 (吾妻町)
岩城 武志 (横 道) 小林 信子 (上小泉)
寺澤 芙佐美 (法花寺) 高木 悦子 (田中新町)

【団体】

北野フォーユークラブ部
田中新町いきいきサロン

滑川善意銀行理事長感謝状

中屋 一博 (加島町)
(故) 岩山 新之助 (追 分)
(故) 白岩 初郎 (田中町)
(故) 上坂 マツエ (開)
(故) 永田 律子 (本 江)



子どもたちの募金箱コンクール

滑川市長賞	石川 煌起 (寺家小 4年)
滑川市共同募金委員会賞	加島 岳 (寺家小 3年)
滑川市社会福祉協議会長賞	稲場 大知 (東部小 4年)
入賞 (7名、順不同)	
石倉 颯馬 (南部小 1年)	大村 梨心 (寺家小 3年)
蓮本 心太 (西部小 1年)	横田 光祐 (北加積小 5年)
坂東 綾音 (東部小 1年)	金山 勇輝 (南部小 6年)
坪川 真依 (田中小 2年)	

平成 29 年 10 月 28 日(土)、第 57 回滑川市社会福祉大会が開催されました。上田 昌孝市長、加田 洋一社協会長の挨拶の後、滑川市の社会福祉発展に貢献された方々の表彰式典が行われました。

大会宣言では、木下 忠夫民生委員児童委員により、「ぬくもりを手から心へ、支え合う福祉のまち」をスローガンに掲げ、市民一人ひとりの尊厳が大切にされ、「自助・共助・公助」によるバランスのとれた福祉社会の実現に向け、努力することを宣言しました。



記念講演として、プレゼンテーション・プランナーの山本 衣奈子氏をお招きし、「“伝える”から“伝わる”へ ～人のココロを動かすコミュニケーション術～」をご講演いただきました。

講演中は、来場者同士で参加するミニワークショップが多く取り入れられ、終始和やかで笑顔が絶えない講演会となりました。

講演内容は次の通りです。

コミュニケーション、つまり人間関係に正しい答えはない。ないものを探すから難しく感じるのだが、コミュニケーションを上手にとるABCがある。それは、「A:あたりまえのことを B:ばかにせず C:ちゃんとやる」で、コミュニケーション上のあたりまえのこととは、「相手がいる」ということである。

相手とのコミュニケーションが上手に『いきいきパーソン』は、自分の感情や状況に左右されず一定して、笑顔・あいさつ・声掛けを実践しているが、上手にいかない『どんよりパーソン』は、「自分が〇〇なのは、相手が〇〇だからだ」といったように相手依存の状態にある。相手が自分を察してくれないと、憤りを感じてしまうため、「こんなこと言わないとわからないのか」といった発言をしてしまう。

人それぞれ感じ方は違い、正しさとは、人や立場によって変わりやすく定義はあいまいなものなので、察するということはとても難しいことである。会話は相手に伝わるように話さなければ伝わらず、コミュニケーション不全を招いてしまう。他人はなかなか変わらないが、変えられるもの、つまり自分を変えることに努力をすることで、双方向の会話が成立し、しっかり伝わることでコミュニケーションをスムーズに行うことができる。



伝わる伝え方のポイント(3つのS)

1、ストレート (Straight)

自分が何を言いたいのか、ぶれないように伝えること。

2、シンプル (Simple)

言葉は、自身の経験や概念で違っていることが多いが、自分が伝えた言葉と相手に伝わった言葉が一致しているとは限らない。そのずれを補強するのがニュアンスであるが、ポジティブなニュアンスで伝えたほうが相手の自己効力感を高め、良い結果を得ることができる。

3、スマイル (Smile)

行動を変えてみることで気分が見方についてくれることがある。なかなか笑顔になれないときでも、笑顔になれるような行動をプラスしてみる。普段「すみません」と言ってしまうが、ちだが、「ありがとう」という言葉に言い換えて、自分も相手も笑顔になろう。

たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。



介護予防ふれあいサロン紹介

高齢者が住みなれた地域でいきいきと元気に暮らすために、生きがいつくりや仲間づくりの場として、市内 36 団体のサロンが活動しています。(平成 29 年 5 月現在)

今回は、高月東部で活動する「高東介護ふれあいサロン」を紹介します。

高月東部ふれあいサロン 代表 大田 美利 さん

11 月は、茶話会でお茶とお菓子を楽しみながら、温泉地の県名当てクイズに挑戦されました。参加者の方から、県名から「県庁所在地はどこ?」「四国・九州には何県がある?」「昔の呼び名は?」など、ひとつの問題からたくさん問題が出て、盛り上がりました。

また、グループに分かれて「指定された長さに紐を切る」というゲームでは、ふすまや畳の長さを利用して測ったりし、知らず知らずのうちに立ったり、体を伸ばしたりして運動につながっているとのこと。何でもゲームにして楽しんでいるサロンでした。

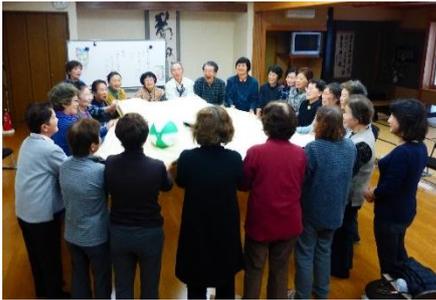


※これからも、各サロンを訪問し活動取材させていただきます。よろしくお願いします。

社会福祉協議会出前講座事業

福祉に対する理解と普及を目指して、地域に出向いています。福祉に対する学習を通して地域社会への関心と理解を深め自ら実践することによって、福祉問題を解決する力を身につけましょう。

平成 29 年 11 月 8 日 上島町内会
講師と社協職員でレクリエーション、体操、社協の事業紹介をしました。



平成 29 年 11 月 18 日 上梅沢にここサロン
町内の方と社協職員で悪質商法対策の寸劇をしました。



家族介護者交流サロン

在宅で要介護高齢者のご家族を介護している方に、食事と音楽を聴いてリフレッシュしていただくサロンを開催します。

日 時：平成 30 年 3 月 1 日(木) 午前 10 時半から午後 2 時半まで

場 所：滑川市民交流プラザ 3 階 研修室 1

内 容：情報交換・昼食・民謡コンサート「寺崎美幸さん」(参加費 500 円)

申込期限：平成 30 年 2 月 20 日(火) 定員は先着 15 名です



滑川市ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティアきっかけづくり講座を開催しました

◎福祉レクリエーションボランティア養成講座 平成 29 年 9 月 25 日、10 月 2 日

講師 NPO 法人富山県レクリエーション協会 事務局次長 大橋 和子 さん

家でもできるような、身近なものを利用しながらということで、楽しく体を動かす方法や 1 枚の新聞紙からいくつものゲームを紹介してもらいました。「ゲームは主催者 1 人ですべて考えなくても大丈夫！アレンジをしたり、参加者の皆さんからもアイデアをもらいましょう」と先生からのお話で、レクリエーションは気軽に行えるものになりました。



◎傾聴ボランティア養成講座 平成 29 年 11 月 9 日、16 日

講師 富山国際大学 教授 村上 満 さん

相手の話を耳と目と心を傾けながら聴く「傾聴」の技術を学びました。ワークショップを通して、お互いの価値観を認め合うこと、顔を見て話すことの安心感を確認しました。



防災研修会開催のお知らせ

災害が起こったとき、あなたはどうしますか？この研修会では、災害が起こったとき、各自のとるべき行動や災害に備えた取り組みを実際の被災地支援の報告とともに学びます。

避難時、支援時に役立つワークショップを行います。

日 時： 平成 30 年 3 月 10 日(土) 9 時半～11 時半

場 所： 滑川市民交流プラザ 3 階 多目的ホール

講 師： 日本赤十字社 富山県支部

参 加 費： 無料

定 員： 50 名程度

申込締切： 平成 30 年 3 月 2 日(金)



ワークショップで、新聞スリッパや風呂敷リュック作りを体験します



※大判の風呂敷をお持ちの方はご持参ください(ワークショップで使用します)

ボランティア お仲間募集

ボランティアセンターでは、ボランティアグループの結成や立ち上げのお手伝いをしています。ひとりで活動している方も、同じ思いをお持ちの方と一緒に活動してみたいと思ったら、ぜひご相談ください。



- ◎一緒に施設等で音楽活動をしませんか？
ギターやピアノ等を弾ける方を募集しています。
- ◎子育て支援グループを結成しませんか？
子どもが好きな方を募集しています。



お問い合わせ・お申し込みは、滑川市ボランティアセンターまで ☎ 475-7000

子ども用品限定フリーマーケット・地域食堂たんぽぽ 同時開催のお知らせ

子ども用品限定フリーマーケットと地域食堂たんぽぽを同時開催します。多数のご来場お待ちしております。

フリーマーケット

日時：平成30年2月24日(土)午前11時～午後2時まで

場所：滑川市民交流プラザ 3階 多目的ホール

品目：育児用具、衣類、絵本、DVD、CD、おもちゃ、乗り物、文房具、市内小中学校制服・体操服等

区画数：20区画(1区画:約2m×3m)

出店料：無料

申込期間：平成30年1月5日(金)～1月31日(水)※応募多数の場合は先着優先

申込先：滑川市ファミリーサポートセンター ☎ 475-7000



地域食堂たんぽぽ

日時：平成30年2月24日(土)正午12時～午後2時まで(受付は午前11時50分から)

場所：滑川市民交流プラザ 3階 研修室2

メニュー：カレーライス(味は甘口のみです)

料金：子ども(18歳未満) 無料

大人 300円

※アレルギー対応はしておりませんので、ご了承ください。

限定100食



滑川善意銀行だより

皆様の心あたたまる貴重な善意、誠にありがとうございます。

平成29年9月1日～平成29年11月30日までに預託された方々のご芳名は下記のとおりです。

(順不同・敬称略)

金員預託(寄付)

※金額については希望者のみ掲載しています。

故 中田 良輝 (上梅沢)	故 柳原 一郎 (田中新町)
故 水野 キクエ (清水町)	故 船田 和弘 (稲泉)
故 杉本 サノイ (神明町)	故 檜谷 ノブ (加島町3区)
故 川原 アヤ (北野)	故 高橋 喜十 (四屋新) 50,000円
故 石川 利洋 (中川原)	地域食堂たんぽぽ
故 松井 ヨシエ (赤浜)	北陸電力集金検針労働組合
故 植松 ソノエ (高塚)	滑川太極拳愛好会
故 大浦 キミ (赤浜)	上小泉公民館

物品預託(寄付)

中西 道子 (上小泉)	手縫い雑巾 210枚
新夕 静子 (河端町)	手編みのマフラー30枚
北陸電力集金検針労働組合	日用品(洗剤、たわし等)

金員預託 16件 合計 455,457円



みんなで広げよう善意の輪を!



この広報は一部共同募金の助成金により発行されています